



# リンゴの主要害虫 モモシンクイガの防除に！

モモシンクイガの成虫

交信かく乱用性フェロモン剤

# シンクイコン®-L

農薬種類名（一般名）：ピーチフルア剤  
農林水産省登録：第23882号

シンクイコン®は信越化学工業(株)の登録商標です。

交信かく乱用性フェロモン剤の  
詳しい説明はWEBで→



性フェロモンで対象害虫の  
交尾を阻害することで発生を抑制

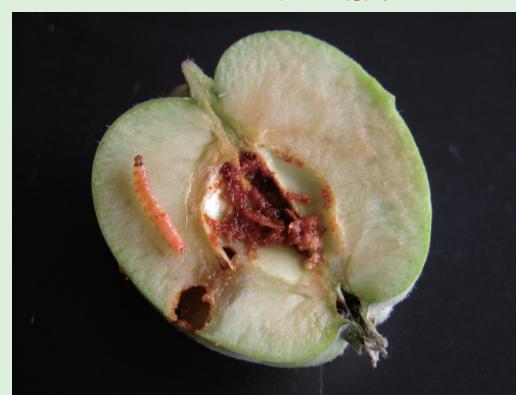
有機JASに使用できます

被害果や幼虫を見かけたら要注意！

モモシンクイガの被害果



モモシンクイガの幼虫



# 交信かく乱用性フェロモン剤 シンクイコンー<sup>®</sup>-L

## ●有効成分 :

(Z)-13-イコセン-10-オン ..... 89.5%  
安定剤等 ..... 10.5%

## ●安全性

人畜毒性 : 普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

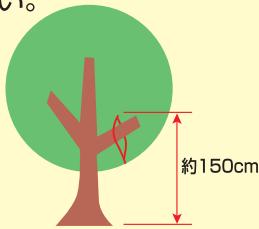
魚毒性 : この登録に係る使用方法では該当がない

●包装形態 : 100本／袋、50袋／箱

## 上手な使い方

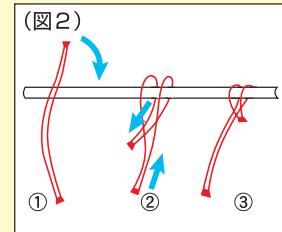
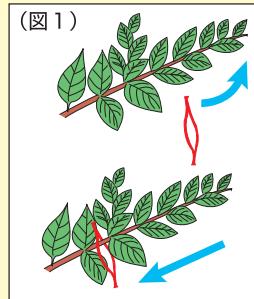
### 1. 処理量と処理位置

10アールあたり100本を設置します。目通りの高さに、なるべく圃場全体に均等になるように取り付けてください。



### 2. 取り付け方法

細い枝では輪にして、輪の中を通すか（図1）、少し太い枝ではそのまま巻きつけてから、一端を輪の中にくぐらせて固定してください（図2）。（強く引っ張って固定すると、端が切れる恐れがありますので注意してください。）



## シンクイコンーLの登録内容

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法
果樹類	交尾阻害	モモシンクイガ	100本／10a (13g／100本製剤)	成虫発生 初期から終期	ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け設置する。

## シンクイコンーLの特長

- 性フェロモン剤の有効成分は微生物等により容易に分解されるため、環境にやさしい防除剤です。
- 性フェロモン剤は、殺虫剤と比べても一般的に抵抗性がつきにくいとされています。
- 作物への残留も心配なく、輸出用作物にも使用できます。

## 使用上の注意事項

- 本剤は、モモシンクイガの交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる次世代の密度低下を目的としていますので、対象害虫の成虫発生初期から連続的に比較的広範囲な地帯で使用することが望ましいです。
- 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用することが望ましいです。
- 本剤は樹木等に巻き付け、対象地帯に均一になるように設置してください。また、立地条件や風向、傾斜等により効果が振れる場合がありますので、諸条件から判断して、必要な場合は使用量の範囲内で、特に周辺部に多めに設置することが望ましいです。
- 急傾斜地、風の強い地帯等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では使用しないでください。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散しますので、必ず使用直前に開封し、使い切ってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

## 安全使用上の注意事項

- 危険物第四類第三石油類に属するので火気には十分注意してください。

## 貯蔵上の注意事項

- 火気を避け、直射日光が当らない冷暗所（5°C以下）に密封して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2021年9月現在の知見に基づいて作成されています。